

(局様式7) 協定内容の公表

ふれあいの森における国民参加の森林づくり活動の公表

下越森林管理署は、下記のとおりふれあいの森における森林づくり活動の協定を更新したので公表します。

記

1 協定相手方の名称

団体名 加治川さくらの里づくりの会

2 「ふれあいの森」の概要

(1) 位置 新潟県胎内市貝屋字椽平国有林 18 林班つ小班外 25

(2) 面積 72.57ha

(3) 主な活動内容 大峰山桜樹林の保護・育成・森林及び周辺の整備等

3 協定項目

別添「協定書」(写) のとおり

4 その他

旧協定期間の満了に伴う更新である。

令和7年3月28日

下越森林管理署長 山本 満久

担当：森林技術指導官

電話：0254-22-4146

ふれあいの森における森林整備活動に関する協定書



下越森林管理署長（以下「甲」という。）と加治川さくらの里づくりの会会長（以下「乙」という。）は、ふれあいの森における森林整備活動に関し、次の条項のとおり協定を締結する。

（協定の目的）

第1条 この協定は、協定締結者の役割を明らかにするとともに、協定締結者の連携及び協力により、本協定に基づくふれあいの森における森林整備活動等が円滑に実施されることを目的とする。

また、本協定における活動により持続可能な開発目標（SDGs）の「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」（目標7）、「気候変動に具体的な対策を」（目標13）、「陸の豊かさを守ろう」（目標15）に貢献するものとする。



（ふれあいの森の名称、位置及び面積）

第2条 甲は、下越森林管理署橡平国有林 18 林班つ小班外 25 の 72.57 h a をふれあいの森として乙に活動させるものとする。

なお、ふれあいの森の名称は、「橡平さくらの里」とする。

（全体活動計画書の提出）

第3条 乙は、活動の実施に当たって、別紙様式1により全体活動計画を作成し、甲と調整した上で、協定締結のあった日から14日以内に甲に提出するものとする。

（年間活動計画書の提出）

第4条 乙は、毎年度の活動の実施に当たって、別紙様式2により年間活動計画を作成し、甲と調整の上、前年度末までに提出するものとする。

なお、初年度にあっては活動を実施する前までに甲に提出するものとする。

また、年度途中で活動内容を著しく変更しようとする場合は、あらかじめ甲と連絡及び調整を行うものとする。

（活動実績の報告）

第5条 乙は、毎年度の活動実績について、別紙様式3により年間活動実績報告を作成し、年度末までに甲に報告するものとする。

（活動の実施）

第6条 乙は、別紙様式1及び様式2の計画に沿って活動を実施するものとする。



- 2 甲、乙及び活動実施者は、適切な連絡調整を図りながら、活動の円滑な実施に努めるものとする。
- 3 乙は、活動実施者に対し、活動を行う森林が各般の法令等の制限を課せられている場合にあつては、その法令等による規定を遵守させ活動を実施するものとする。

(入林の際の連絡・調整)

第7条 乙は、入林する場合にあつては、その都度、事前に当日の責任者名、入林者数、活動内容、入林期間等を、甲に書面（電子ファイルのメールによる送信を含む。）等により連絡し、必要な調整を行うものとする。

また、乙は、責任者に活動参加者名簿を携行させるものとする。

(安全確保等の措置)

第8条 乙は、活動の実施の都度、実施場所ごとに責任者を配置するとともに、事故の未然防止に必要な措置、事故発生時等、緊急時の連絡体制の確保及び事後措置等について万全を期することとする。

- 2 乙は、本協定に基づく活動の参加者の安全を責任をもって確保するものとする。

万一、活動に伴い事故が発生し、活動参加者が負傷等した場合の補償等の責任の所在について、あらかじめ明確にしておくこととする。

(経費の負担)

第9条 活動の実施に要する経費は、乙が負担するものとする。

(立木竹等の所有権等の権利)

第10条 乙は、協定締結期間中及び協定締結終了後のいずれにおいても、実施箇所の土地、立木等についての所有権及び活動により生ずる全ての権利を有しないものとする。

(施設の設置等)

第11条 乙は、活動に必要な施設を設置する場合は、仮設工作物等簡易なものであつて、土地の形質変更が軽微なものに限るものとし、施設の設置計画等についてあらかじめ甲に連絡し、調整を行うものとする。

- 2 乙は、活動が終了した場合には、設置した施設を収去するものとする。

ただし、甲がその必要がないと認めたときはこの限りではない。

(法令等の遵守)

第12条 乙は、活動の対象となる国有林野に係る法令等による規定を遵守するもの

とする。

(山火事防止等の措置)

第 13 条 乙は、当該実施箇所及びその周辺において、土砂の崩壊若しくは流出、火災等の災害又はその他の被害が発生し、又は発生のおそれがある場合には、遅滞なく甲に届け出るものとする。

2 乙は、活動参加者に対して、当該箇所及びその周辺における火災防止に充分留意し、山火事防止に万全を期するとともに、万一、山火事が発生した場合には、直ちに甲及び消防関係機関等に連絡するものとする。

3 乙は、活動参加者に対して、活動に伴うゴミの始末等の注意を呼びかけ、当該実施箇所及びその周辺における環境美化に努めるものとする。

(損害賠償)

第 14 条 乙及び活動実施者は、その責に帰すべき事由により、立木竹、その他の国有財産に損害を与えた場合には、これに相当する金額を補償するものとする。

(活動の円滑な実施への協力)

第 15 条 甲は、活動が円滑に実施されるよう、活動の開始に当たっての現地案内及び説明並びに活動計画の策定に当たっての助言等の協力を行うものとする。

(ふれあいの森の適切な管理)

第 16 条 甲は、ふれあいの森が国民により自主的に整備等されるものであることを踏まえ、適切な管理を行うものとする。

(協定の破棄等)

第 17 条 甲は、次の場合、協定を破棄することができるものとする。この場合、甲は乙に事前に通知するものとする。

- (1) 活動の対象となる国有林野に係る法令等に違反する行為があった場合
- (2) 協定に基づいた森林づくり活動の実施の見込みがなく、又は活動の円滑な実施に著しい支障が生じたものと甲が認める場合であって、乙から甲に対し別紙様式 4 による協定解消に係る申請がない場合又は申請内容が妥当と認められない場合
- (3) ふれあいの森の全部又は一部を、国又は地方公共団体において公用、公共用又は国の公益的事業の用に供する必要が生じた場合
- (4) 国有林野事業の管理経営に支障を及ぼし、又は支障を及ぼすものと認められる場合
- (5) 協定締結による国民参加の森林づくり実施要領第 5 の 2 の団体の条件の全

部又は一部を満たさないことが明らかになった場合

(6) 協定締結者としてふさわしくない行為をしたことなどにより、協定締結者として不適当であると認められる場合

2 乙は、やむを得ない事情により協定に基づいた森林づくり活動の実施が困難となった場合又は活動の円滑な実施に著しい支障が生じた場合で、今後の活動実施の見込みがない場合、別紙様式4により協定解消の申請書を甲に提出するものとする。甲は、乙からの申請内容が妥当と認められる場合、当該協定を解消するものとする。

(協定の有効期間)

第18条 この協定は、令和7年4月1日から令和12年3月31日まで効力を有するものとする。

2 この協定は、乙から活動の申し出があり、甲がこれを認める場合は更新できるものとする。

(その他必要と認められる事項)

第19条 甲乙両者は、信義を重んじ、誠実に本協定を履行しなければならない。

2 この協定の実施に関し、疑義の生じた事項又はこの協定に定めのない事項については、その都度、甲乙協議して定めるものとする。

上記協定の締結を証するため、本協定書2通を作成し、両名記名押印の上、各自その1通を保有する。

令和7年3月14日

(甲) 住所
新潟県新発田市大手町四丁目4-15
下越森林管理署長 山本満久

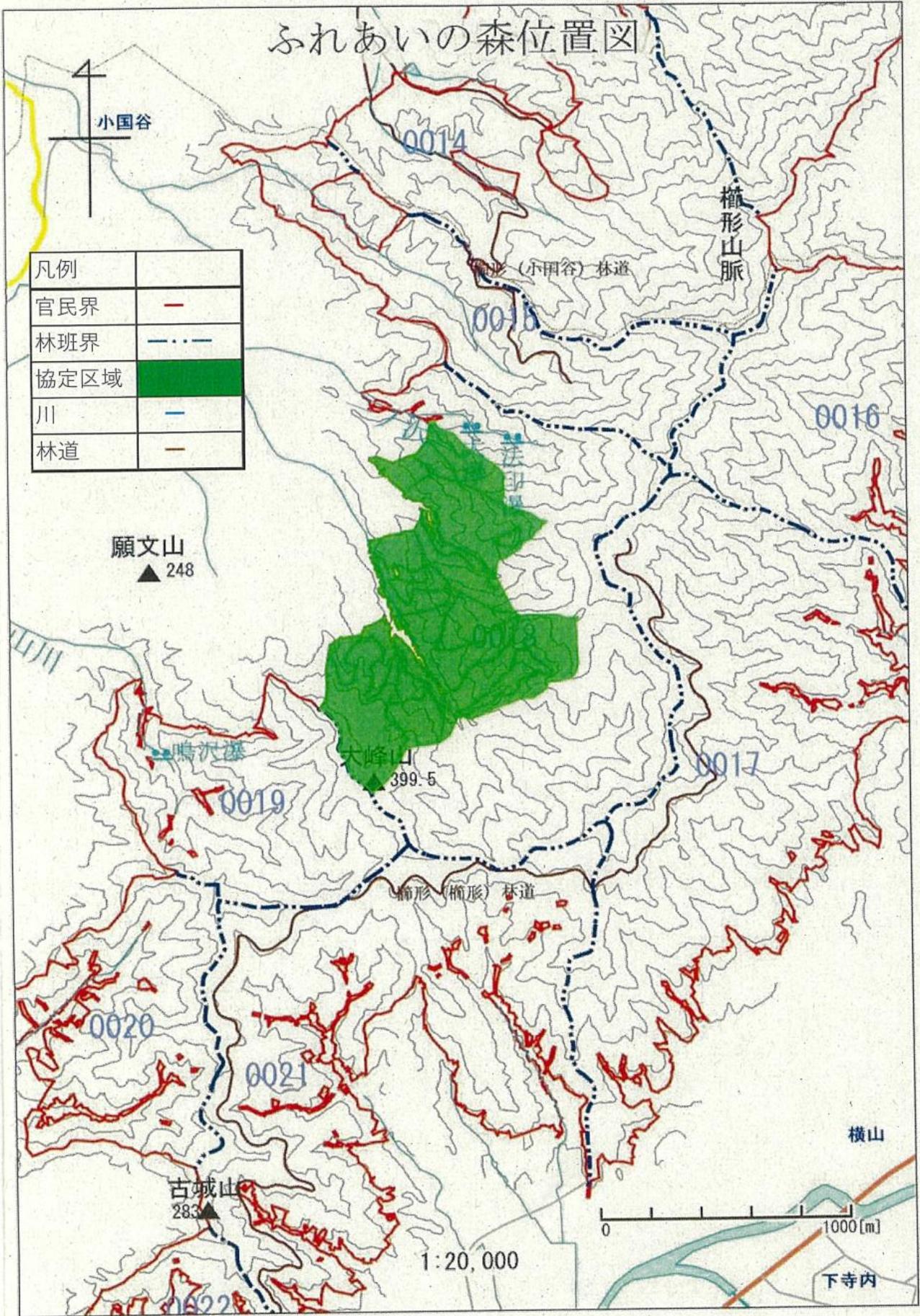


(乙) 住所
新潟県新発田市草荷1147
加治川さくらの里づくりの会
会長 宮島允



ふれあいの森位置図

| | |
|------|-----------|
| 凡例 | |
| 官民界 | — |
| 林班界 | - · - · - |
| 協定区域 | ■ |
| 川 | — |
| 林道 | — |



小国谷

願文山
▲ 248

大峰山
399.5

古城山
283

1:20,000

0 1000[m]

下寺内

横山

楡形山脈

(小甲谷) 林道

楡形(楡形) 林道

法印

鳴沢瀑

(別紙様式1) 「ふれあいの森」における全体活動計画書

年 月 日

下越森林管理署長 殿

協定者(代表者)

住所 新潟県新発田市草荷1147
氏名 加治川さくらの里づくりの会
会長 宮嶋 允

「ふれあいの森」における全体活動計画書

1 「ふれあいの森」の名称・位置・面積

| 名 称 | 位 置 | 面 積 |
|---------|--------------------------|---------|
| 椽平さくらの里 | 胎内市貝屋字椽平国有林 18つ林小班外25 | 72.57ha |

2 全体活動計画

(1) 活動の目標

| |
|--|
| |
|--|

(2) 活動の内容及びスケジュール

| 活動の内容 | 1年次 ○年 | 2年次 ○年 | 3年次 ○年 | 4年次 ○年 | 5年次 ○年 | 合計 |
|-------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|----|
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| 合 計 | | | | | | |

(注) ・活動内容については、頻度(回数)等について記述する。
・資材・道具置き場等の仮設工作物を設置する場合は記述する。

3 その他

※ 各種法令の指定状況

| |
|--|
| |
|--|

(注) 本欄については、森林管理署等で記入。

(別紙様式2) 「ふれあいの森」における年間活動計画書

年 月 日

下越森林管理署長 殿

協定者(代表者)

住 所 新潟県新発田市草荷1147

氏 名 加治川さくらの里づくりの会
会 長 宮 島 允

年度「ふれあいの森」における活動計画書

1 「ふれあいの森」の名称・位置・面積

名称 椽平さくらの里

位置 胎内市貝屋字椽平国有林18つ林小班外25

面積 72.57ha

2 年度活動計画

| 活動の内容 | 活 動 時 期 | | | | |
|-------|---------|---|---|---|---|
| | 月 | 月 | 月 | 月 | 月 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 合 計 | | | | | |

参考：活動項目の例：植栽、下刈、間伐、歩道整備、自然観察、林内清掃など

3 その他

※ 各種法令の指定状況

(注) 本欄については、森林管理署等で記入。

(別紙様式3) 「ふれあいの森」における年間活動実績報告書

年 月 日

下越森林管理署長 殿

協定者(代表者)

住 所 新潟県新発田市草荷1147
氏 名 加治川さくらの里づくりの会
会 長 宮 島 允

年度「ふれあいの森」における活動実績報告書

1 「ふれあいの森」の名称・位置・面積

| 名 称 | 位 置 | 面 積 |
|---------|--------------------------|---------|
| 椽平さくらの里 | 胎内市貝屋字椽平国有林 18つ林小班外25 | 72.57ha |

2 年度活動実績

| 実 施 日 | 活動実施者 | 参加者数 (参加者内訳) | 活動内容(数量等) |
|-------|-------|-----------------|-----------|
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

※ 参加者数欄には、参加者の内訳を記載してください。

内訳は、幼児、小学生、中学生、高校生、大学生、教育委員会、緑の少年団、大人等により区分してください。

本表により書ききれない場合は、別紙同様の様式により報告してください。

3 その他

(別紙様式4) 「ふれあいの森」の協定解消の申請書

年 月 日

下越森林管理署長 殿

協定者 (代表者)
住 所 新潟県新発田市草荷1147
氏 名 加治川さくらの里づくりの会
会 長 宮 嶋 允

1. 協定の森の名称・位置・面積・協定の有効期間

2. これまでの活動経緯・現状

3. 協定解消を求める事由

4. 施設等の有無

(1) 撤去必要な施設等の有無

有・無

(2) (1) で「有」とした場合の、施設種類・施設数

(3) (1) で「有」とした場合の、施設撤去予定期日

年 月 日

| 名称 | 位置 | 面積 | 協定の有効期間 |
|----|-------|----|---------|
| | 国有林 | ha | 年 月 日 |
| | 林班 小班 | | 年 月 日 |
| | 国有林 | ha | 年 月 日 |
| | 林班 小班 | | 年 月 日 |

森理印
越前長
下林署

和道
の国長
三